

**製品名: マンマグロビン B ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13615**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	15kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SCGB2A1
別名	SCGB2A1; LIPHC; MGB2; UGB3; Mammaglobin-B; Lacryglobin; Lipophilin-C; Mammaglobin-2; Secretoglobin family 2A member 1
遺伝子 ID	4246.0
SwissProt ID	O75556
免疫原	抗血清は、ヒトマンマグロビン B 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 10-59

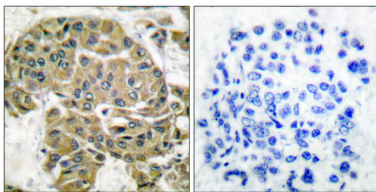
**背景**

機能:アンドロゲンや他のステロイドに結合する可能性があり、前立腺癌に使用される化学療法剤であるエストラムスチンにも結合す

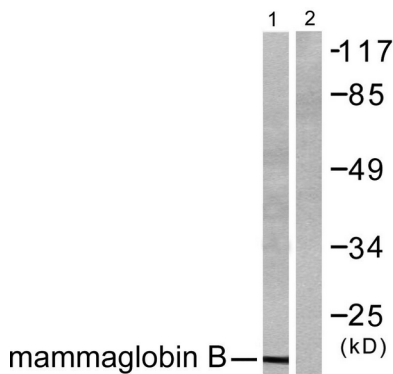
る可能性があります。ステロイドホルモンの転写制御下にある可能性があります。 ,質量分析: PubMed:9720917,類似性:セクレトグロビンファミリーに属します。リポフィリンサブファミリー。 ,サブユニット:リポフィリン Aモノマーとリポフィリン Cモノマー (マンマグロビン B) のヘテロダイマーが頭と頭で会合しています。 ,組織特異性:胸腺、気管、腎臓、ステロイド反応性組織 (前立腺、精巣、子宮、乳房、卵巣) 、唾液腺で発現しています。 ,機能:アンドロゲンや他のステロイドに結合する可能性があります、前立腺癌に使用される化学療法剤であるエストラムスチンにも結合する可能性があります。ステロイドホルモンの転写制御下にある可能性がある。 ,質量分析: PubMed:9720917,類似性: セクレトグロビンファミリーに属する。リポフィリンサブファミリー。 ,サブユニット: リポフィリン Aとリポフィリン C (マンマグロビン B) モノマーが頭対頭で結合したヘテロ二量体。 ,組織特異性: 胸腺、気管、腎臓、ステロイド感受性組織 (前立腺、精巣、子宮、乳房、卵巣) 、唾液腺に発現する。 ,

## 研究分野

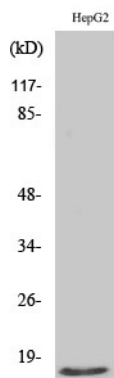
## 画像データ



マンマグロビン B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



マンマグロビン B 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



マンマグロビン B ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析